

## 一般質問①

# 留守家庭児童育成センターの 開所時間延長が実現します！

## 再来年度には、全留守家庭児童育成センターの 開所時間が午後6時まで延長されます！！

### ■過去の取り組みと、今回の質問

昨年6月議会の一般質問において、留守家庭児童育成センターの運営上の課題の洗い出しと改善のための提案を行うとともに、障害を持つ高学年児童の受入の実現・開所時間の延長を求めました。その結果「留守家庭児童育成センターへ入所を希望する4年生以降の障害児を受け入れるために早急に最善の方策を講じていただく陳情」が採択され、**本年4月から障害を持つ高学年児童の留守家庭児童育成センターでの受入が実現**しました。また留守家庭児童育成センターが抱える課題に取り組むためのプロジェクトチームも結成されました。こうした過去の経緯を踏まえて、今議会の一般質問では

- ①開所時間延長に向けた、今後のスケジュール
- ②午後7時までの開所時間延長に対する認識
- ③運営上の課題改善についての認識

等について、質問しました。

## セクハラ教師が学校に戻ってきてしまいました。。

### 生徒や保護者に内緒の現場復帰。 こんなことを黙って見逃すわけには、いきません。

### ■事件の経過

『「発声をよくするためのマッサージと称して女子生徒の体に繰り返し触る」などのセクハラ行為を行い、一度は懲戒免職処分とされたものの、恥知らずにも公平委員会に訴え、結局は停職6ヶ月に処分を減免された』セクハラ教師の事件を覚えていらっしゃるでしょうか？この40歳過ぎの男性教師が研修を終え、**4月から市立西宮東高校に加配教師として配属**されました。

### ■学童編・一旦完了。次は・・・

これらの質問に対して、市当局は、**午後6時までの延長を平成20年度に一部モデル実施し、平成21年度にすべての育成センターで実施する**という予定を明らかにしました。また、指導員の確保方法や管理運営上の問題等、整理が必要な課題を明示したうえで、**午後7時までの開所時間延長が今後の検討課題であることを認めました**。さらに、具体的な例を挙げて指摘した**運営上の課題については、問題の存在を明確に認めるとともに、改善に向けて、積極的に取り組むことを約束**しました。

留守家庭児童育成センターが抱える諸課題については、一定の解決・改善に成功しました。しかしながら「子育てするなら西宮」の実現のために解決・改善すべき課題は山積しています。今後は**公立保育所の民間移管・幼稚園の待機児童問題などにも積極的に取り組んでまいります**。

### ■厳しい対応が必要です！

現在、生徒・保護者は事件のことを全く知らず、セクハラ教師に接しています。このような人事を行っていたのでは本人に責任の重さを自覚させることは出来ません。こうした対応は問題の再発につながりかねないうえ、同校に勤める教職員の士気を低下させます。このような対応を黙って見逃すわけにはいきません。今後の推移を見守るとともに、厳正な対応を求めてまいります。

## 一般質問②

# 市財政が抱える「爆弾」！ 滞納金問題への早急な取り組みが必要です。

## 借金(=財政赤字)が178億円を越えると、倒産してしまう西宮市。 なのに、実は192億円もの隠れ借金を抱えているのです。

### ■最も悪質なのは、国民健康保険料！

本来、西宮市の収入となるべき金額のうち、約192億円が滞納されています(平成17年度決算)。**市の年間予算は約2,900億円、財政赤字が178億円を越えると財政再建団体に転落**します。192億円の滞納金が市財政に与える影響は甚大です。中でも**国民健康保険料(以下、国保料)は滞納金額・約53億円、保険料の30%以上が滞納**されています。しかも他の事業では滞納金の減少・滞納率の低下が見られる中、**滞納金額・滞納率とも大幅に増加**する等、極めて危険な状態にあります。そこで今回の一般質問では、国保料の滞納問題について、国保料の徴収を担当する国保収納グループ(以下、国保収納G)と、市税の徴収を担当し、滞納金の減少・滞納率の低下に成功している納税グループ(以下、納税G)の比較を行いながら、問題点の指摘と改善策の提案を行いました。

### ■役割分担と業務の適正化が必要です。

国保収納Gと納税Gでは

- ①国保収納Gには滞納整理に関係ない業務が存在するが、納税Gには存在しない。
- ②国保収納Gの滞納対策の中心は効果が弱いものが中心。納税Gは効果が強いものが中心。

という違いがあります(表①)。そこで、

- ①国保収納Gの業務・組織を整理し、国保料の徴収・滞納整理に専念する組織に改めること。
- ②国保収納Gの滞納対策を、より強い滞納整理効果を持つ業務に重点を置くよう改めること。

を提案しました。これに対して当局は

- ①国保収納Gを徴収・滞納処分に特化した組織にしていくことを検討すること。

②人員配置の見直しを行い、滞納整理業務の中心を、より効果の強いものに改めること。を約束しました。

表①

業務内容	業務に携わる職員数		滞納整理効果
	国保収納G	納税G	
滞納整理に関係ない業務	7	0	弱 ↑ ↓ 強
滞納整理効果の弱い業務	18	9	
滞納整理効果の強い業務	3	17	
滞納整理効果の非常に強い業務	0	10	
～職員数合計～	28	36	

### ■人員強化が必要です。

平成13年度から平成17年度の5年間で、国民健康保険の被保険者世帯数は約15%、滞納世帯数にいたっては約37%も増加しています。職員一人当たりの担当滞納世帯数は1,400件を超えており、実効性のある滞納対策には、ほとんど取り組めていません。こうした現状を踏まえて、国保収納Gの人員強化の必要性を強く訴え、当局からは「**人員体制の強化が必要と考えて**」おり、「**関係部局と調整して**」いく、という答弁を得ました。

### ■財政健全化に取り組めます！

国から地方への税源以上・高齢化の進展に伴う国保被保険者世帯数の増加などの要因もあり、滞納問題は、今後一層、複雑・困難化することが予想されます。**滞納金問題の拡大・深刻化は財政状況の悪化に直結し、財政状況の悪化は市民サービスの低下につながります**。こうした悪循環を断ち切るため、滞納金問題をはじめとした財政問題に積極的に取り組んでまいります。

「西宮市議会議員・しぶや祐介の活動日記」(<http://shibuya.blog.bai.ne.jp/>)で、もっと詳しい内容と、日々の活動・政策などをご覧ください。